

# 21伊豆山稜線歩道(2) 風早峠～船原峠

春にはマメザクラに包まれる稜線を歩く

さんりょうせん

前項の伊豆山稜線歩道(1)の終点を風早峠としたが、ここに宿泊施設はないので、持越温泉まで下らなければならない。距離にして10・8kmもあるので続いて歩くのはちょっとつい。宿の車かタクシーを頼まなくてはならない。風早峠から船原峠を歩く場合も逆に持越温泉、または宿泊先から宿の車かタクシーを利用しなくてはならない。

伊豆山稜線歩道は西天城高原線の道路とほぼ平行しているので、自然保護や動物にもやさしい処置がされている。その一つがカルバートである。カルバートとは、この辺りに生息している二ホンジカやニホンイノシシ、ノウサギ、タヌキなどの生活圏を道路が分断してしまうことがないように、けもの道のあった所に動物移動用のトンネルを道路上に設置したものである。これにより、動物の生活圏の確保と交通事故を防ぐことができる。カルバートは縦横4mのボックスカルバート(3ヶ所)と直径2mのパイプカルバート(6ヶ所)の2種類がある。

船原峠まで8km。随所に道標が設置されているので、安心して歩けるが、階段の上り下りが多く、足腰の弱い人は避けたほうがよい。特に膝や腰に故障のある人にはおすすめできない。

また、海岸に近い稜線なので季節が強く、晚秋から早春にかけては防寒衣類と風除けの衣類も必要。2～3月には雪の降ることがある。おすすめはマメザクラやアセビの咲く4月、新緑の5～6月、紅葉シーズンの11月。

▲風早峠  
風早峠から道路に平行した尾根道を行く。途中から林道となり宇久須峠へ。休憩舎と案内板、石仏がある。これからしばらくササ原の草原に続く木の段の上り。振り返るや、猫越岳や後藤山の山並み、天城放牧場の

建物が見える。

しばらく上って三差路から右に下ると、ササ原の草原と別れ小さな十字路を過ぎると樹林帯に入る。

200段近い木の段を上り、アセビのトンネルに入ると**魂の山**。案内板の標高993mは933mの誤り。

魂の山からは下り。木の段の途中から富士山をはじめ、これから向かう達磨山方面が望める。

右下に道路が近づいてくると**土肥峠**の分岐。右上に木の段を上昇するとボックスカルバートがある。カルバートの先は**林道達原線**で持越鉱山から持越温泉への道である。案内では持越温泉まで3・8kmであるが、実際は4・5kmである。

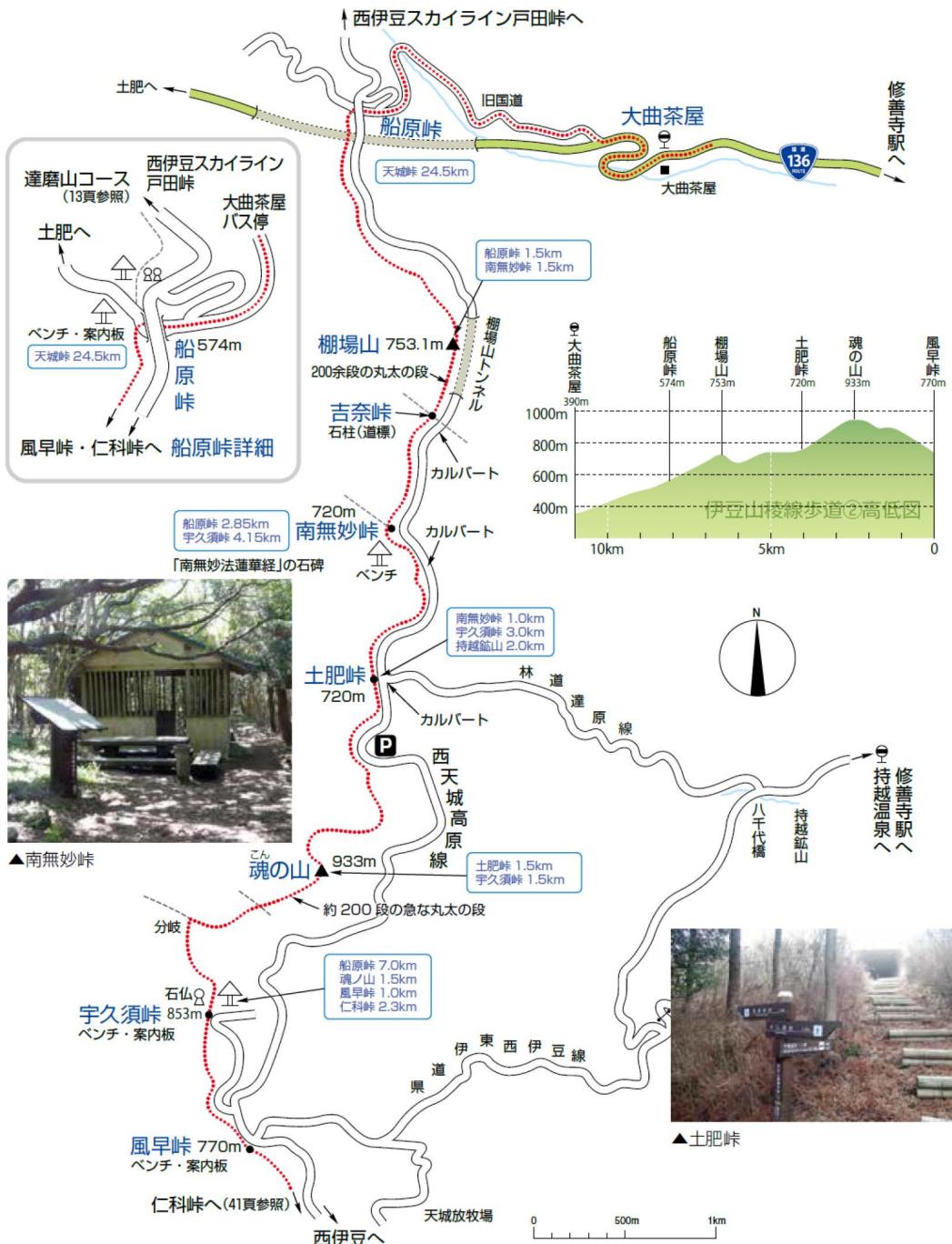
稜線の各峠は、かつて湯ヶ島と西伊豆などを結ぶ生活道路であったため、その名残の道や道標などが残されている。

**土肥峠**からしばらく道路に平行した歩道が続く。木の段が多く、上ったり下ったりの繰り返しが多い。**南無妙峠**には休憩舎とベンチ、南無妙法蓮華経と彫られた石碑がある。かつてここで行き倒れた夫婦の供養のために村人によって建てられたものという。

吉奈峠には古い石柱の道標がある。約230段のきつい木の段を上ると船原峠まで1・5kmの棚場山の

所要時間：約3時間45分(風早峠～大曲茶屋)

コースタイム(参考)	
バス	大曲 50分 船 30分 棚 15分 吉 20分 南 20分 土 30分 魂 35分 宇 25分 風 220分 バス
修善寺駅	28分 原 3.1km 場 0.4km 奈 1.1km 妙 1.0km の 1.5km 久須 1.0km 早 10.8km 持越温泉 46分
茶屋	55分 峠 35分 山 10分 峠 20分 峠 20分 峠 35分 山 25分 峠 20分
	4.5km 70分
	持越温泉



山頂。木の段を下ると船原峠までは緩い下り坂。旧国道136号線に出ると休憩舎と案内板がある。反対側に山稜線歩道の達磨山方面の上り口がある。ここにはバス停がないので大曲茶屋までおよそ3時間歩かなくてはならない。